



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2019

1月25日号

168
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

Neo STARGATE



副会長 鈴木 雅 博

新年あけましておめでとうございます。

2019年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は本会事業の推進につきまして、ご理解とご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。本年も昨年同様にご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は皆様にとってどのような一年でしたでしょうか？

大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、西日本地域7月豪雨、台風多発、連日の猛暑日…全国各地で大きな自然災害が相次ぎました。改めて災害対策として日頃からの備えに努めなければならないと感じました。また、被災された皆様方が一日でも 早く落ち着いた生活を取り戻せるよう、微力ながら私達が今できることをしていきたいと思っております。

我々診療放射線技師を取り巻く環境としても、国が進めるチーム医療推進の中で、診療放射線技師が必要とされる職業として認められなければならない、業務拡大に伴う統一講習会、医療被ばく低減施設、診療放射線技師法の抜本的改正など抱える課題は山積みであり、来年度も福島県内で数回予定されている統一講習会も2020年の新卒からは、新しい教育を受けた診療放射線技師が医療界に仲間入りをします。次期診療放射線技師法の改正では、新しい診療放射線技師と統一講習会修了者が優先対象となることから、既卒の方々は、早めの受講をお勧めします。(日本診療放射線技師会 中澤靖夫会長 年頭所感より一部抜粋)

平成最後となる2019年は、5月に皇位継承が行われ、新たな元号へのスタートの年でもあります。平成の30年間で医療情勢はめまぐるしく、情報化推進により電子カルテ、放射線部門システム(RIS、PACS等)も急速に普及しております。また、多列検出器CT、高磁場MRI、DSA、FPD、PET、粒子線治療等あらゆる分野において新しい技術が生まれ、今後も進歩し続けていくなか、さらに現在ではAI(人工知能)技術を活用した研究開発が進み、さまざまな産業分野への応用が期待されています。

最後になりましたが、本会は創立70周年を迎えました。会員皆様とともに歴史を振り返りつつ、未来へ向け節目の年を歩んでまいりたいと思います。そして、今年は改選の年となります。一昨年に副会長という大役を仰せつかり、担当事業の引継ぎや会務の把握に追われ、あっという間の2年でした。この2年間、一緒に会を盛り上げていただいた役員各位に改めて深謝申し上げます。今年の干支は亥(いのしし)になります。「猪突猛進」今年一年、着実に前進する素晴らしい年となりますよう祈念いたします。

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久保 均

福島県診療放射線技師会会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。2021年4月の開学まで、あと2年と少々となって参りました。ただ、実際は新学部の設置申請書を文部科学省の大学設置・学校法人審議会で審議していただくために提出するのが2019年度末ですので、もう400日少々しかありません。私どもは少ない陣容で相当な量の書類を仕上げなければなりません、福島県の診療放射線技師の皆さまの夢を実現すべく努力して参ります。今後も、引き続きのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、時間はかかりましたが前回までで3つのポリシーをご説明申し上げました。この3つのポリシーは、大学の入口から出口までの方針を示しています。つまり、どのような学生を受け入れ、学ばせ、卒業させるか、を明確化する意味があります。これにより、大学毎の教育の方向性が可視化されるとともに、大学自身が教育の質の保証を行うための指針とすることができます。また、入学者にとっては大学選択の資料となります。これらは、「大学教育の質的転換」の一つとして行われているものです。私どもも、これらのポリシーを制定することで、我々の教育の方針を明らかにするとともに、社会へ説明する一助としています。そのような前提で、ご覧いただければ幸いです。

現在、開学に向けて教育用備品・設備の調達やシラバス、時間割の策定などを行っています。Vol.159でお伝えしましたとおり、100から200床程度の病院規模の放射線診療の設備を導入する予定をしておりますので、学生の教育はもちろん、すでに現場で働いている先生方にも様々な場面でご利用いただけることができず、と考えております。卒後再教育や、新たなモダリティ導入時のトレーニングなどにも使用できるかもしれません。また、様々な評価用のファントムや測定器なども揃える予定であり、なかなか病院では購入できないものが多いですから、県内のご施設でも利用していただけるような仕組みも取り入れることができると良いな、と思っております。現場で働いている先生方で、何か疑問や問題などが生じたときに、ふらっと本学に立ち寄っていただいて、教員らと話をしたり一緒に実験を行ったりすることで、その問題が解決することができるような場になる必要もあると考えております。先生方のアイデアと行動で、新しい学部・学科は如何様にも成長できます。福島県の診療放射線技師養成施設として、是非一緒に成長を支えていただきたいと思います。このようなことはできるだろうか？というようなアイデアがございましたら、是非とも久保までメールなどでお気軽にご連絡ください。

本年は、我々新医療系学部設置準備室にとっては勝負の年です。変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

<新医療系学部設置準備室からのお願い - 1 ->

引き続き、診療機器や測定機器などで廃棄するものなどから、教育に使用できるパーツを集める作業を行っております。これ廃棄するのだけど、教育に使える？というようなものがありましたら、是非とも久保（kubo-h@fmu.ac.jp）までご一報いただければ幸いです。

<新医療系学部設置準備室からのお願い - 2 ->

もう一つ、お願いさせていただきます。新学部はそもそも地域医療に貢献する使命を有しており、我々は開学前ではありますが、できる限り先生方と一緒に学んで、県内の診療放射線科学（診療放射線技師が業務範囲とする科学全般を指す、我々が使用している用語）を高いレベルへ進化させていきたいと考えております。そこで、「福島医大診療放射線科学

スキルアップセミナー」を企画しました。既存の研究会や勉強会との共催でも構いませんし、放射線科部内などで行う2、3人程度の勉強会でも構いません。(公私問いません) 私ども教員をお呼びいただき、一緒に勉強していきましょう。詳細は久保、あるいは新里会長までお尋ねください。(お話など対応できる内容などが記載してある) 資料をご用意しております。なお、現時点で平成31年度も実施する方向で進んでおります。各教員のスケジュールが合う限り、何度でも一緒にいたします。これは、開学後も続けていきたいと思っておりますので、積極的なご活用をお願いいたします。ルーチン化していただくことも大歓迎です。どうぞよろしくお願いいたします。



少し古いですが、2018年11月26日の建設予定地の囲いの写真です。4学科の案内ポスターを貼付しました。この写真では色は分かりませんが、それぞれの学科の色が決まっており、診療放射線科学科はオレンジ色です。道行く人が、少しでも興味を持ってくれると良いですね。近くを通られる際は、是非一度ご確認ください。

～会長 「オンレコ」～

新年おめでとうございます。会員・賛助会員の皆様やご家族にとって良い年でありますよう申し上げます。

1 「中間会計監査について」

日放技との業務委託契約、事務所購入の進展、等について質問があり、回答しました。

色々と話し合い、会計業務は正常に行われていると判断していただきました。これは日頃から会計・財務が本当に一生懸命に会務を行っている証拠です。会長として感謝いたします。

2 「日放技代議員の立候補について」

日放技会誌12月号にも記載がありますが、日放技代議員立候補届け出があります。会員数の関係で、福島県は代議員3名と代議員補欠1名と決まっています。前回の理事会では、代議員に私・鈴木副会長・阿部財務理事の3名が立候補し、代議員補欠には笹川事務員が立候補す

る事が決まりました。福島県の会員で立候補する方が他に居らしたらお知らせください。

3 「70周年記念誌ではなく、公益法人10周年記念誌として発行」

今年度中に資料を揃えて、来年度の会報と一緒に皆さんへ発送する予定でした。

ただ、総会も公益法人からの回数記載に変更したので、公益法人10周年の時に記念誌として作成・発行する事が理事会で議決しました。

4 「福島医大新学部の安全祈願祭及び起工式」

11月27日(火)に福島駅近くの新学部が建つ敷地内で行われました。会長へも出席依頼がありましたので出席しました。2021年春の開校を、会員と楽しみにしております。

《平成30年度 福島県診療放射線技師学術大会》

平成30年11月11日に、星総合病院ポラリス保健看護学院メグレズホールにて開催されました。学術大会参加者は、会員142名、県外会員1名、非会員7名、学生4名、一般1名、メーカー16名、合計で171名でした。



《セミナー便り》

「第40回福島県放射線治療技術研究会」開催

本会は平成30年12月8日(土)に南東北がん陽子線治療センターにて開催されました。今回は講演3題と県内治療施設からの話題提供が全部で8題という内容構成であり、38名の参加がありました。

講演はメーカーによる製品紹介および画像誘導放射線治療における被曝線量の管理に関する内容で、それぞれ千代田テクノル株式会社の山口義樹様、バリアンメディカルシステムズの内田幸宏様からお話をいただきました。お二方とも診療放射線技師の免許を有しており、かつては臨床現場で働いていたご経験もあったとのことで、実務に即した大変分かり易い内容で、参加者からも好評を得ていました。もう一つは特別講演として福井大学医学部附属病院の木下尚紀様をお招きし、最近話題となっている放射線治療用線量計の分離校正について、現場で知っておきたい対応を中心にお話をいただきました。県内ではまだ分離校正の経験のある施設はないことから、質問も非常に多く、今後に役立つ非常に有益な情報を得ることができたものと思われます。

会員話題提供のコーナーでは、県内各施設から日頃か

ら取り組んでいる課題について、幅広い内容で話題提供をしていただきました。毎回のことですが、質疑応答も活発に行われ、気付いたら終了時刻は予定を大幅に超えて、18時過ぎとなってしまいました。県内には放射線治療施設が全部で11施設ありますが、担当者の方々は総じて勉強熱心であり、参加するたびに刺激を受けることができます。研究会終了後には忘年会を兼ねた懇親会へと繋がり、盛況のうちに終了しました。



(加藤)

「32th MICS」開催

平成30年12月15日(土)に、ポラリス保健看護学院3F会議室にて開催されました。

テーマは「医療被ばく低減施設認定の取得に向けて」でした。

関連用語の説明から竹田総合病院の鈴木氏による被ばく低減認定施設のシステム構築の苦労とノウハウをメインに、坪井病院 濱端氏からの施設紹介で読影体制と地域連携に関する問題点の発表、富士フイルムメディカル株式会社より新製品CALNEO Dualの紹介、星総合病院の続橋氏によるフリーディスカッションと内容盛りだくさんの2時間半でした。

被ばく低減認定施設のシステム構築では、認定を受けるまでに行った多くの書類等の準備内容や新たに導入した被ばく線量管理システムとの接続の状況に関して、運用上の苦労と今後の問題を話していただきました。被ばく線量管理システムは導入したばかりで、このシステムに関する深い話を聞くことはできませんでしたが、システムの導入を検討している施設には、どうやって各検査の被ばく線量を取得するかを学ぶことができたのではないかと思います。2020年には医療法の省令を改正し、

医療被ばくの線量記録を義務化する方針が出されています。今回の発表を参考に、各施設準備に取りかかって頂ければと思います。

施設紹介では、外部読影依頼の現状を、月の読影依頼件数と支払いコストにおける問題と読影依頼レポートの読影確認問題についての報告がありました。常勤の読影医がいない施設では、同じような問題を抱えているのではないかと思う内容で、月の支払いコストを抑えるため、放射線科で行っている影の努力などの話を聞くことが出来ました。読影レポートの確認では、電子カルテ運用と紙カルテ運用での確認の仕方は異なりますが、新聞報道での読影結果見落とし問題で注目されている内容であり、施設での医療安全の為に優先度の高い検討項目ではないかと思います。施設毎に様々な問題があるため、他施設の運用をそのまま取り込むことはできませんが、運用検討の一助として生かして頂きたいと思います。

New TopicsのCALNEO Dualは一枚に二層のシンチレータを組み込み、胸部の場合一度の撮影（通常の撮影条件）で骨抜き画像を得ることができるFPDです。このFPDでは骨密度も得ることができるという情報もありましたが、製品化において未だ調整中で発表することができないとのことこの話は聞くことはできませんでした。二層のシンチレータでの画像を用いて得られるサブトラクション画像は、ソフトウェアを使用して過去画像とサブトラクションする画像よりも精度は良いが価格がネックとなりそうです。このFPDを現場においてどの様に使用するか頻度とコストパフォーマンス等を十分検討しないと購入には至れないと感じました。

毎回盛り上がるフリーディスカッションでは、ここに載せることが出来ないくらいの内容についての質疑応答がありました。特に注目を集めたのが「K939」の取得に関する診療報酬内容の解釈と設備条件等です。取得できるシステム要件および条件の情報と解釈が錯綜している状態です。その施設で取得できるか否かは、直接東北厚生局に書面での回答をもらい実施すべきであるとの結論で終了しました。

次回も多くの方にご参加いただける内容で企画の準備を進めています。ぜひ当セミナーに参加いただき運用の問題などを他施設に質問し、その場でしか聞けない裏話

などの情報を持ち帰っていただければと思います。次回のご参加をお待ちしています。



(石森)

編集後記

あけましておめでとうございます。ついに『ラジエーションハウス』が連続TVドラマ化決定いたしました!! 年末には、診療放射線技師のイヤなニュースもありましたが、良い意味で、診療放射線技師を多くの方に知ってもらえるよう、応援していきましょう。



©横幕智裕 モリタイシ

(國分)

**会費の納入は
お済ですか？**

未納の方は、直ちにお願いします。

齋藤 康雄 氏

瑞宝双光章 受賞祝賀会のご案内

福島県診療放射線技師会の監事である、齋藤康雄氏が、長年にわたる国民医療の向上発展に寄与された功績により、瑞宝双光章を受賞されました。その栄光をたたえ、祝賀会を開催いたします。

日時：平成31年2月24日(日)

午後3時

場所：郡山ビューホテルアネックス

発起人代表：県南地区協議会 鍵谷 勝

発起人：福島県診療放射線技師会会長 新里昌一

発起人：同 事務局長 遊佐 烈

《今後の研究会》

「福島県生活習慣病従事者講習会（胃がん検診）
及び第37回消化器研究会」

日時：平成31年2月16日(土)

場所：星総合病院

ポラリス保健看護学院

平成31年1月吉日

会員各位

公益社団法人福島県診療放射線技師会
消化器病分会 代表 亀山 欣之

福島県生活習慣病従事者指導講習会（胃がん検診）
及び第37回消化器研究会のご案内

謹啓 新年の候、皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、標記研究会を下記日時で開催致します。ご多忙の折とは存じますが是非お誘いのうえ
ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬白

日時：平成31年2月16日（土）
場 所：公益財団法人 星総合病院 ポラリス保健看護学院
参加費：会員 1,000 円 非会員 2,000 円

13:30～ 受付
【プログラム】 総合司会 福島県保健衛生協会 石田 萬史
14:00～14:30 シリーズ消化器疾患『肝臓編』
座長 坪井病院 三村 智道
講師 太田西ノ内病院 林 伸也 先生
14:30～15:00 基礎講演『胃型の理解、明日から使えるバリウムを渡さないコツ！』
座長 福島県保健衛生協会 遠藤 潤
講師 会津中央病院 白岩 大輔 先生
15:00～16:15 症例検討会（アンサーパッドを用いて）
座長 福島労災病院 三浦 智弘
症例提示施設 会津中央病院 本田 勝敏
16:15～16:30 休憩
16:30～17:30 特別講演『読影のススメ ～胃X線検査における背景粘膜を考慮した読影の仕方』
座長 福島県保健衛生協会 亀山 欣之
講師 公益財団法人 宮城県がん協会 がん検診センター副所長 加藤 勝幸 先生

※当日は、公益社団法人福島県診療放射線技師会の会員証をご提示下さい。
※尚、この研究会は日本消化器がん検診学会・胃がん検診専門技師認定の2単位が習得出来ます。
※問い合わせ先：公益財団法人福島県保健衛生協会 担当 遠藤 潤
Email: jfm_37th@ic.or.jp Tel: 024-546-0604

主催：公益社団法人福島県診療放射線技師会／共催：伏見製薬株式会社
担当：福島県診療放射線技師会消化器病分会

「第98回会津画像研究会」

日時：平成31年2月13日(水)

場所：竹田綜合病院 総合医療センター2階

画像診断センターカンファランス室

平成31年1月9日

会員各位

公益社団法人 福島県診療放射線技師会
会津地区協議会委員長 鈴木 雅博

第98回会津画像研究会開催のご案内

拝啓、皆様におかれましては益々ご清栄の事とご推察申し上げます。下記のとおり
多岐画像研究会を開催致します。多数参加されますようお願い致します。

敬具

日時 平成31年2月13日（水） 18時15分～19時15分
場 所 竹田綜合病院 総合医療センター2階
画像診断センターカンファランス室
＊カンファランス室や駐車場の場所については、
別紙の案内図を参照して下さい。

司 会 竹田綜合病院 放射線科 二瓶 秀明 氏
演 題 1. 「非イオン性等浸透造影剤ビジパークの
有用性について」
第一三共株式会社 東北支店
エリア統括第一部 造影剤・癌担当 成谷 光造 氏
2. 「大腸 CT用バリウム製剤を使用した大腸 CTの紹介」
竹田綜合病院 放射線科 二瓶 陽子 氏
3. 「Test Bolus Tracking 法による冠動脈 CTを経験して」
竹田綜合病院 放射線科 太田 伸久 氏

共催 （公社）福島県診療放射線技師会会津地区協議会
第一三共株式会社

会津地区協議会学術担当、事務局

□ 技師会会員の力は当日、会員カードを忘れずにお持ちください。
□ 非会員の力は参加費1000円を頂きます。

「第9回福島救急撮影カンファレンス」

日時：平成31年3月16日(土)

場所：福島テルサ

The 9th Fukushima Emergency Imaging Conference

人の振り見て我が振り直せ！

◆学術情報（13:45～） 富士フイルム富山化学株式会社
◆フンポイントレッスン（14:00～14:40）
造影CT編 栢記念病院 安倍 努 先生
緊急MRI編 総合南東北病院 国分 美加 先生
◆教育講演（14:40～15:20）
「救急撮影こんな時どうする？ -しくじり先生 俺みたいになるな！-」
福島県立医科大学 田代 雅実
～ FANTA 福島血管撮影技術セミナー コラボ企画！ ～
◆症例報告（15:35～16:50） 座長 太田西ノ内病院 深谷理人
「ACS」 福島県立医科大学 角田 和也 先生
「Trauma」 太田西ノ内病院 大原 亮平 先生
◆特別講演（17:05～18:05） 座長 星総合病院 井戸沼俊英
「救急診療における放射線技術の発展を願って」
りんくう総合医療センター 教育研修企画調整室 坂下 恵治 先生
◆開会あいさつ（18:05～18:15）

2019.3.16 土
福島テルサ
参加費 1,000円
学生 無料

★取得可能ポイント
日本救急撮影技術認定機構
日本X線CT専門技師認定機構
日本血管撮影・インターベンション
専門診療放射線技師認定機構
1単位

主催：福島救急撮影カンファレンス
富士フイルム富山化学株式会社
後援：福島県診療放射線技師会
＜FEC事務局＞
福島県立医科大学附属病院
放射線部内
office.fec@gmail.com
http://plaza.umin.ac.jp/fec/